

報道関係・スポーツ担当記者各位

1/1

2018-074
2018年10月31日

大阪エヴェッサ、スポーツによる地域課題解決プロジェクト「A3」を開始 ～大阪から持続可能な開発目標(SDGs)の実現目指す～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、大阪エヴェッサは、株式会社ティーアンドエス、株式会社日本戸建管理、株式会社CAMPFIREと連携して、「大阪から始まる、スポーツが地域課題を解決するプロジェクト」を立ち上げることとなりました。大阪から、持続可能な開発目標(SDGs)の実現を目指す継続的な取り組みです。

報道関係の皆様におかれましては、本件の広い告知にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

－概要－

このたび、大阪エヴェッサは株式会社ティーアンドエス、株式会社日本戸建管理、株式会社CAMPFIREと連携して、「大阪から始まる、スポーツが地域課題を解決するプロジェクト」を立ち上げることとなりました。大阪から、持続可能な開発目標(SDGs)の実現を目指す継続的な取り組みです。



(写真左より、株式会社日本戸建管理 企画開発室 室長 井上貴博氏、株式会社CAMPFIRE クロスボーダー事業部 部長 大東洋克氏、大阪エヴェッサ代表取締役 安井直樹、株式会社ティーアンドエス 社長 稲葉繁樹氏)

プロジェクト名は「A3」(ARCH AID AROUND)。

ARCHは「バスケットボールのシュートが描く弧」を、AIDは「手助けする、支援する」、AROUNDは「行き渡る」を意味します。「A3」は2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)に則り、「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す」というビジョンの実現を目指します。

今回のプロジェクトは大阪に目標を定め、継続的な活動であることが特長です。

台風、地震、大雨での被災、環境破壊や環境保全、少子高齢化による農家の減少、空き家問題など地域の安心・安全の向上、医療・福祉の現場、といった地域が抱える様々な課題をスポーツを通じた企業連携で解決することを目指します。なお、今後の活動については詳細が決まり次第、随時発表いたします。